

企業名： アドバンテスト

レポート名：「統合報告書 2022」

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

理解できる。

半導体事業は現代社会において最も求められているものの一つであり、それに付随して半導体試験装置の市場も極めて重要度が高いと思われる。この半導体試験装置市場で優位な立場を確立すれば多大な利益を上げることができる。この統合報告書から、これからも同市場の中で優位な立場を築きつつ、さらにリードをしていくような姿が読み取れる。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

理解できる。

世間から高く評価され、競争優位性を持つ背景に次のものが挙げられる。

- ・ 研究開発への積極的かつ継続的な投資

最新の研究を取り入れ、革新的なアイデアを追求することで、次世代のテスト技術の開発をリードしている。

- ・ 強固な顧客基盤

お客様との関係を一つ一つ大切にして信頼性と信用を築くことで、長年にわたって支持を得ている。この信頼関係も製品やサービスが市場で高く評価される要因になっていると考えられる。

- ・ 製品ポートフォリオの多種多様性

研究開発で生まれた高度なテクノロジーや革新的なアイデアを用いて、多くのラインナップを提供しており、幅広いニーズに対応できるようにしている。これによってさまざまな市場で競争力を持つこととなり、さらに新たな成長機会も見出すことができる。

- ・ グローバル性

アドバンテストはグローバルな展開に注力しており、世界に多くの顧客を持つ。国債市場での成功は競争優位性に大きく貢献している。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

理解できる。

前にも述べたように、アドバンテストは研究開発への投資に注力している。そこで革新的なアイデアが継続的に生むことができるため、競争優位性も保つことができる。また、売上高も着実に伸ばしており、2022年は前年1500億円増の5500億円を見込んでいる。

このように、同市場において優位な立場を築き利益を上げていることから、持続性があると考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

アドバンテストでは、世界中の従業員が心を一つにして、仲間のため、顧客のため、そして社会のために奉仕するにあたっての心構えとしてコア・バリュー“INTEGRITY”が定められており、職員を対象にした研修も行われている。そして、最先端の研究に携わることで多くの経験を積むことができる。また、従業員の6割が外国人である環境になっていることから、様々な人の意見を取り入れる協調性を育むことができるとともに、グローバルな視野を持つことができる。以上から私はこの会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると考える。

4. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

約 90 ページにわたって書かれており、企業の魅力を詳細に理解できるようになっている。また、説明に対する図表が豊富に添付されており、分かりやすかった。